

本との関わり、ちよつとだけ愉しく。

暮らしの中の、ちよつとした時間に。

いつのまにか、電車の中で本を読む人は少数派。代わりにほとんどの人たちが手にしているのは、スマートフォンやタブレット。気がつけば、町の本屋さんも急速に消えていきました。時代はデジタル社会に向かって加速度的に進み、本や書店の未来を考えると、決して明るいとは言えない状況になっています。しかし、ここ数年の動向を見てみると、アナログレコードが再び見直されているように、本の世界も電子書籍を取り入れる人と、「紙の本」で持っていたいという人と、二極分化の方向に進んでいるようです。手づくりの温度のあるものを大切にしたいという思いは、時代の要求かもしれません。「紙の本も書店も絶滅しまったら困る」、そんな人たちと共に、私たちは今小さな本を創ります。『本のちよつと』というささやかな書籍が本好きの新たな拠点となり、読み手(読者)売り手(書店)書き手(作者)をつなぎ、本の周辺が“ちよつと”だけ元気になればと考えています。

読み手(読者)、書き手(作者)、売り手(書店)をつなぐ、「本の本」

BOOK
RELATION

WRITER

COMPACT

本好きの新しい交流拠点

編集の柱となるのは、新刊本、古本、新刊書店、古書店、出版社など、読書に関わる読物。その他に、エッセイ、小説、詩など文芸、映画と本、音楽と本、食と本、アートと本、町歩きなどのカルチャー情報も。本好きの方はもちろん、書店の皆さんにも扱ってみたいと思う、新たな交流拠点を目指しています。

作者・ライターの発表の場

『本のちょっと』は、作家やライターの方の寄稿とさまざまな記事で構成される雑誌的構成の書籍です。プロの書き手による読み応えのある作品も紹介していきますが、一方で新しい作者、ライターたちの作品発表の場としても開放。こうした連載から、新しい本の出版も見据えています。

愛着が持てる「紙の本」

言葉や活字に関心の高い本好きに、まず手に取ってもらうことを大切にします。サイズはコンパクトなB6サイズ。バッグに入れて、持ち歩きしやすい大きさ。内容も100ページ前後で、珈琲やお酒と共に手軽に読めるボリューム。装幀・文字組み・デザインにもこだわり、愛着の持てる「紙の本」にします。

東京の東の“はじっこ”から、遊び心溢れる出版文化を



『本のちよっと』が編集・発行されるのは、東京都江戸川区小岩。編集部があるのは、昔懐かしい商店街の奥の住宅地の中。小岩は、東京の最東端、川を越えれば千葉県のはじっこの町、東京最後の未開拓地です。

『本のちよっと』は、荒川、隅田川、中川、江戸川の流域である、江戸川区、葛飾区、足立区がホームグラウンド。東京の最東端、このはじっこのエリアから、新しい「川の手文化」、遊び心溢れる「出版文化」を発信していきます。

はじっこ3区は魅力的なエリア。ここから生まれる本をアピール。

- ①東京最後の未開拓地！江戸川区 <JR>●小岩<京成>●京成小岩●江戸川<都営新宿線>●篠崎●瑞江●一之江●船堀<東西線>●西葛西 ②京成沿線隠れた秘境！葛飾区 <JR>●金町●亀有●綾瀬<京成>●高砂●青砥●お花茶屋●堀切菖蒲園●立石●四ツ木●柴又<北総線>新柴又 ③今住みたい町トップ!?足立区 <JR>北千住●南千住●綾瀬<京成>●千住大橋<東武スカイツリーライン>●小菅●五反野●梅島●西新井●大師前●竹ノ塚

「東京はじっこ会議」 企画・編集集団を組織。誌面づくりにも活用。

本好き、本屋さん好き、読書好き、江戸川区、葛飾区、足立区、川の手(はじっこ)を愛する企画・編集集団。定例の会合を開催。自分たちの手で、『本のちよっと』他、本づくり・雑誌づくりをしていきます。

■活動内容

・ブックフェア、読書会、作家トークライブ、シンポジウム、書店古書店経営セミナー、エディター、ライタースクールなどの企画・運営

■会報・フリーペーパー「東京はじっこ通信」発行
足立、葛飾、江戸川三区の情報、同区との本、作家、書店、古本屋情報。

VOL. 1 編集概要

《特集》

本と小さな旅

旅と関わりが深い本。創刊号では、小旅行と本の間を、さまざまな角度から、興味深くまとめます。

- 作家インタビュー
 - 旅に連れて行きたい本 広尾晃
 - 時速 100 キロの図書館 近藤智
 - 短篇小説/家出をしようか 伽藍
 - あの町に行きたい「新風土記叢書」の世界 宇野浩二 大阪 雲プロ
 - 本のちょっとした旅/東京はじっこそぞろ歩き 雲プロ
 - ①江戸川区 相撲関係の本と柄錦・稀勢ノ里 ②葛飾区 玉の井と永井荷風・滝田ゆう
 - ③足立区 北千住、千住大橋と松尾芭蕉
 - 旅に出たくなる本 30 雲プロ選
- 「ジャック・ロンドン放浪記」「白洲正子かくれ里」「岡本太郎の東北」「つげ義春貧困旅行記」
「林芙美子下駄で歩いた巴里」etc

《連載》

- 本の言葉 or 巻頭ポエム 雲プロ
- 読書ドキュメント①/「失われた時を求めてを求めて」 小柴麻帆
- 本の社会学 本のことも書いてみる/①本屋の閉店 吉永明弘
- 図書館司書のひとり言①/知的空間の奇的現象 hana
- 書店探訪① ブックス・キューブリック(福岡市) 雲プロ
- 魅惑の古本屋① 岡島書店(立石) 雲プロ
- 出版社探検記① しろうべえ書房(京都市右京区) 雲プロ
- ミニ特集 作家その世界① ジャック・タチ 近藤智+雲プロ
- 本屋の歩き方① パワー武田
- 読書の特等席① 雲プロ 快適な読書空間である喫茶店・バーを紹介
- 座談会/混沌食堂 雲プロ 関係者による対談
- 編集人人物図鑑 私とこの本 雲プロ
- 本のある風景 (写真)
- PROFILE&COMENTS
- 編集後記

〈はさみ込みジン〉

東京 江戸川区・葛飾区・足立区川の手通信「はじっこ」(仮)

- 発行人 漆原亮太
- 編集長 村井亮介
- 編集 雲プロダクション(武田主税・甲斐菜摘)+東京はじっこ会議
- デザイン ad-lab
- 編集協力・校閲 石田恵子
- 版型 B6版 100 ページ前後
- 発行 2017年9月30日(予定)
- 定価 1,000円+税
- 発行部数 1,000部
- 販売 全国書店、インターネット
- 発行販売元 有限会社啓文社
東京都江戸川区南小岩 6-10-5 グリーンハイツ 1F
TEL.03-6458-0843 FAX.03-6458-0849

啓文社書房 担当(漆原・武田)

URL: <http://kei-bunsha.co.jp/>

東京都江戸川区南小岩 6-10-5 グリーンハイツ 1F 〒133-0056

TEL.03-6458-0843 FAX.03-6458-0849

e-mail: r.urushibara@kei-bunsha.co.jp (漆原)

